

**教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検、評価報告書**

令和4年度事業の評価結果

令和5年1月 18 日

安芸太田町教育委員会

目 次

はじめに	1 頁
1 企画政策費	
（1）加計高校を育てる会支援事業	3 頁
2 児童福祉費	
（1）子ども・子育て支援事業（評価無し）	4 頁
（2）子育て支援センター運営事業	4 頁
（3）児童センター運営事業	5 頁
（4）児童福祉施設事業	6 頁
（5）保育所（園）管理事業	7 頁
3 教育総務費	
・学校の概要及び教育施策（評価無し）	10 頁
（1）教育委員会運営事業（評価無し）	12 頁
（2）教育委員会事務局運営事業	13 頁
（3）奨学金貸付基金運営事業	15 頁
（4）連携教育推進事業	16 頁
（5）新しい学びプロジェクト事業（先端技術導入実証研究事業）	18 頁
4 小・中学校費	
（1）小・中学校管理事業	19 頁
5 教育振興費	
（1）小学校教育振興事業・中学校教育振興事業	22 頁
（2）小学校就学援助事業・中学校就学支援事業	24 頁
6 保健体育費（共同調理場費）	
（1）加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業	25 頁
7 社会教育費	
（1）社会教育総務管理事業	27 頁
（2）社会教育施設管理事業（評価無し）	28 頁
（3）文化財保護管理事業	28 頁
（4）生涯学習推進事業	29 頁
（5）図書館運営事業	36 頁
（6）放課後子ども教室推進事業	38 頁
8 保健体育費（共同調理場費を除く）	
（1）保健体育総務管理事業	39 頁
（2）体育施設管理事業（評価無し）	40 頁
（3）社会体育振興事業	42 頁

はじめに

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。

安芸太田町教育委員会では、事務・事業の点検を行い、教育行政サービスの質の向上と効率化の実現、コスト削減を進めるために、評価し、仕事の再点検・再確認を行うとともに、厳しい財政状況における効果的な町民サービスを実現させ、効率的な教育行政の推進に資するよう努めます。

2 安芸太田町教育委員会点検・評価の方法

評価は各事業等について、行政内部による評価を行います。

その後、社会教育委員会議（外部委員）に諮り、議会への提出、ホームページで公表します。

また、公表により町民の皆さんからいただく意見、要望も参考にし、今後の事業計画に反映していきます。以上の工程を毎年繰り返すことで、事業の改善を進めよりよい教育行政の運営に努めます。

3 実施の方法

◎ 評価について

(1) 評価の対象とする事業

事業評価をする項目は、安芸太田町主要施策の成果に関する調書をベースに評価します。ただし、予算のほとんどが事務費や管理費である場合は、評価しません。評価する年度で終了・廃止となる事業についても、すべて評価対象となります。

(2) 事業評価における評価者（記入者）

事業評価は事業予算担当者が評価者となります。

(3) 事業の評価

ア 必要性

現在の町民ニーズや社会経済情勢に照らして、事業の必要性があるかどうか、状況の変化に対応しているかどうかを評価します。

イ 有効性

施策や運営方針、町で策定した長期総合計画の目的の実現にどの程度寄与しているかを評価します。

ウ 経済・効率性

事業のコストがかかりすぎていないか、最小の経費で最大の効果を発揮しているか、無駄がないかなど、経済性の面から評価します。

また、事務状況の評価し、併せて目標の設定水準が適切かどうかも検討します。

エ 評価

事業の各評価項目を勘案し、外部評価委員の評価と意見の聞き取りを行います。

～ 評価のランク ～

A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

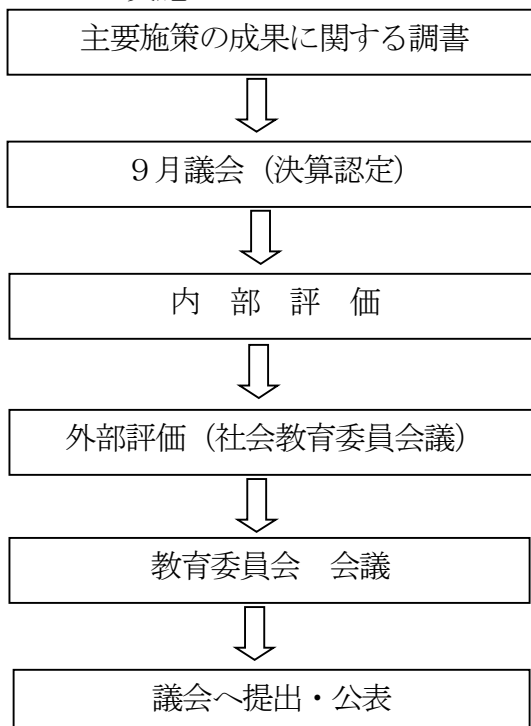
(4) 事業の方向性

上記の評価結果を踏まえて、今後どのように事業を進めるかを選択します。

(5) 評価結果の公表

公表に際しては、議会へ提出し町ホームページに掲載します。

～ 実施フロー ～



1. 企画政策費

(1) 加計高校を育てる会支援事業

① 事業の目的

本町唯一の高等学校である県立加計高等学校の特色ある教育の推進と、県立高等学校再編整備基本計画における統廃合対象校である加計高等学校の存続を目指し、それに要する経費に対し補助金を交付する。

② 事業の成果と課題

加計高等学校の寮として安芸太田町人材育成・交流センター（愛称：黎明館、居室 60 室）の運用を令和 4 年 3 月から開始し、45 名の寮生が利用している。

加計高等学校の魅力化を進めていくため今後、地域の皆様とも連携を深めていく拠点としてより機能させていく。

昨年度に引き続き、ローカルビジネス創出コーディネーター配置事業を実施した。生徒のニーズをもとに高校で行う総合的な探究の時間において、課題解決に向けてのプロジェクトを企画・実践した。栄養成分のイヌリン効果による血糖値の上昇を抑制し、整腸作用にも効果がある菊芋をパウダー化した商品をイベント等で販売するとともに、販売課題整理を行った。また、近隣の道の駅を高校生の視点で調査を実施。再整備後の道の駅にて、若者視点でどのような要素が必要かを整理し、地域商社あきおおた向けにプレゼンを実施した。

地元の中学校を対象としたオープンスクール、進路講演や進路面接指導など中学校と連携した活動を行うなど中高連携を深めた。

また、平成 28 年度から引き続き、中高一貫教育に伴う連携枠として地元出身生徒の確保や町外からの生徒確保のため、「地域みらい留学」プロジェクトに参加し、オンラインによる全国公募に努めた。

進路対策講座の一環として行っている「公営塾」は、会場を川・森・文化・交流センターとし、土日及び学校の振替休日を利用して開催し、延べ 503 人が参加した。

加計高校生徒数 (令和 4 年 5 月現在、単位：人)

1 年生	2 年生	3 年生	合計
39	29	39	107

加計高校を育てる会への補助金内訳

事業名	金額[円]	内容
総合教育支援	6,949,356	進路対策講座、探究時間学習支援、部活動支援 中高連携支援、国際交流支援事業
広報活動支援	3,050,000	地域みらい留学支援（県外生徒募集）、学校広報 活動費用（五輪の峰、生徒募集チラシ作成費等）
合計	9,999,356	

公営塾講師報酬・交通費 2,820,028 円

ローカルビジネス創出コーディネーター業務委託料 2,997,500 円

人材育成・交流センター指定管理業務委託料 26,988,000 円

人材育成・交流センター火災保険料 51,182 円

③ 歳出決算額 42,856,066 円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	加計高校の寮（黎明館）の開設は加計高校存続事業の進展に寄与している。高校生の地域活動への協力、発信など様々な活動が見られ評価できる。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

2. 児童福祉費

(1) 子ども・子育て支援事業

③ 事業の目的・内容

次代の安芸太田町を担う子どもの健やかな成長のために、「第2期安芸太田町子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～令和6年度）を策定している。

④ 事業の成果と課題

計画策定に基づき、事業を進めていく中で、「森のようちえん」構想実現に向け、鳥取県智頭町「森のようちえん まるたんぼう」の取り組みを視察し、今後の具体的な民間活力の導入を基本に、方策の検討を進めていくとともに地域の自然資源の活用や過疎・少子化に対応した子育て支援策を行う必要がある。

⑤ 歳出決算額 284,341 円

(2) 子育て支援センター運営事業

① 事業の目的・内容

加計認定こども園あさひ、認定こども園とごうち内にある子育て支援センターを拠点として地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。

② 事業の成果と課題

少子化の影響で利用者は減少傾向にあるが、支援センターを利用することにより、保育

所やこども園の様子を知る機会となっている。保健師などの協力により、相談、支援業務も充実してきている。また、保護者のコミュニティの形成にも寄与しており支援センター事業の必要性は高い。

今後も出生数の減少、保育所・こども園入園（所）者の低年齢化により、今後の利用者減少は避けられない。子どもを育てる環境が大きく変化しており、親子だけの時間が多くなるなど、精神的不安が増大し、子育てに不安を感じる保護者等の不安解消対策が必要となっている。

利用状況は下表のとおりである。

施設名	利用人数	開設日数	平均利用者数
加計のびのび 子育て支援センター	延べ592人	188日	保護者1.5人/日 子ども1.6人/日
戸河内 子育て支援センター	延べ327人	190日	保護者0.9人/日 子ども0.9人/日

③ 歳出決算額 4,408,195円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	子育て世代の相談や交流が出来る場合は、出生率が下がっている環境だからこそ必要である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(3) 児童センター運営事業

① 事業の目的・内容

筒賀児童センターは地域の児童館としての機能を有し、放課後児童クラブを併設している。筒賀児童センター及び加計放課後児童クラブは学校の放課後、長期休業中において、児童に生活の場を提供し、指導員の保護や支援のもとで、児童の健全育成を図るとともに、保護者の就労と子育ての両立を支援している。

② 事業の成果と課題

児童センター事業として、行事計画を立て、自然を活用しながらの創作活動や体験活動など多彩な行事を展開し、健康かつ情操豊かな児童の育成を図った。また、加計高等学校の生徒や青年海外協力隊員の方との交流を定期的に行った。

令和4年度は、前年度に比べ筒賀放課後児童クラブの延べ利用人数は1,004人減の6,032人、加計放課後児童クラブの延べ利用人数は293人増の5,777人となった。

就労等で日中に保護者がいない世帯が増加し、放課後児童クラブ利用の要望は多くあるため指導員の確保及び研修等の受講により質の向上に努めていく必要がある。

利用状況

事業名	利用人数	開館日数	平均利用者数
筒賀児童センター	延べ 6,032人	288日	20.9人/日
加計放課後児童クラブ	延べ 5,777人	288日	20.1人/日

ア 放課後児童クラブ利用料状況

(単位：円)

利用児童数	収入金額	未収入金額
114人	1,092,900円	0円

③ 歳出決算額 16,123,978円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	
備考			
外部評価	B	評価委員意見	色々な取り組みがなされていることは評価できる。その取り組みの効果についても挙げてほしい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(4) 児童福祉施設事業

① 事業の目的・内容

認定こども園、保育所及び児童厚生施設等の老朽化した施設の改修及び環境整備を図り、施設の長寿命に努めた。

② 事業の成果と課題

夢づくり交流館の外部塗装及び照明器具をLED化に更新することにより、施設の長寿命化及び児童生徒等が安全で快適な生活ができる環境整備が図れた。今後は、老朽化の進む保育施設等を計画的に維持、改修する必要がある。

③ 歳出決算額 11,803,000円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	施設の老朽化に対して、整備改善は必要。今後も計画的に進めてほしい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(5) 保育所（園）管理事業

① 事業の目的・内容

就学前の子どもに教育、保育等の総合的な提供を行うために乳幼児を保育する。

町内2認定こども園、1認可保育所及び1小規模保育事業所で保育を実施した。

令和元年10月から国の幼児教育無償化施策により、3歳以上児の保育料が無償化された。併せて町独自の施策として、これまでの第2子以降保育料無償化に加え、給食費についても無償化を実施している。また、通園距離が定められた距離以上の保護者に対して通園費を補助している。

② 事業の成果と課題

保小の連携教育事業により小学校との連携を図り、相互参観、外部教師による講習及び実施したことにより、幼児教育から小学校教育への接続が円滑に進むよう取組んだ。

保育士の質の向上のために鳴門教育大学附属幼稚園の視察を実施した。保育士については、慢性的な不足が生じているため、引き続き確保に努める。

④ 歳出決算額 46,591,359円

入所児童数

(令和5年3月末現在)

保育所・こども園名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
加計認定こども園あさひ	60	2	4	7	10	11	15	49	81.7%
修道保育所	20	0	0	2	2 (1)	2	1	7 (1)	35.0%
筒賀保育所	19	0	3 (1)	2	0	6	4	15 (1)	78.9%
認定こども園とごうち	60	5	5	6	16 (1)	14	11 (1)	57	95.0%
合計	159	7	12 (1)	17	28 (2)	33	3 (1)	128 (4)	80.5%

() 内広域入所受託児童数

⑤ 収納状況

現年度保育料

保育所(園)・こども園名	調定金額[円]	収入金額[円]	未収入金額[円]
加計認定こども園あさひ	908,870	908,870	0
修道保育所	203,190	203,190	0
筒賀保育所	260,170	260,170	0
認定こども園とごうち	1,603,180	1,603,180	0
合計	2,975,410	2,975,410	0

令和4年度 滞納繰越保育料

保育所(園)・こども園名	調定金額[円]	収入金額[円]	未収入金額[円]
—	0	0	0
合計	0	0	0

一時保育料

保育所・こども園名	利用児童数(延べ)	収入金額[円]	未収入金額[円]
加計認定こども園あさひ	67	111,310	0
修道保育所	0	0	0
筒賀保育所	0	0	0
認定こども園とごうち	29	41,200	0
合計	96	152,510	0

時間外保育料

保育所・こども園名	利用児童数(延べ)	収入金額[円]	未収入金額[円]
加計認定こども園あさひ	182	30,280	0
修道保育所	0	0	0
筒賀保育所	3	940	0
認定こども園とごうち	365	71,640	0
合 計	550	102,860	0

広域入所

受託市町名	受入児童数(延べ)	利用保育所・こども園	受託金額[円]
広島市	3	修道1, とごうち2	2,940,840
廿日市市	1	筒賀1	1,522,790
合 計	4		4,463,630

◆評価

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
備 考			
外部評価	B	評価委員意見	子育てがしやすい町として、充実していることを積極的にアピールする取り組みも必要。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

3. 教育総務費

・学校の概要及び教育施策

令和3年度末をもって上殿小学校は休校となり、小学校3校、中学校2校で令和4年度の新学期を迎えた。

児童・生徒数については、小学校は、児童数216名で前年度と同数、中学校は、生徒数93名で前年度と比べて3名減であった。

広島県教育委員会の掲げる「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランによる「幼保小連携教育の推進」の委託事業を活用して令和元年度から取組みを進めている。園・所等の教員・保育士等と小学校教員が協働して「安芸太田町のめざす子ども像」に向けて作成した接続カリキュラムに基づき日々の活動を実施するとともに、保小合同研修や合同活動に取り組んだ。

本町が日本技術士会中国本部と提携して主催する「安芸太田町科学アカデミー（次世代科学者育成プログラム）」は10年目となり、年間で3回（8月、9月、10月）実施した。ゴム動力を利用したおもちゃの工作、モーターづくりを通じた電気や磁気の学習、ウクレレの作成を通じた音の仕組みについての学習など、児童生徒が楽しく科学について学ぶ機会をもつことができた。日本技術士会中国本部からは、講師派遣等、多大なご協力をいただき、大変有意義な行事となった。開催後のアンケートでは、「楽しかった」「来年度も参加したい」等、肯定的な回答がほとんどであった。

小学6年と中学校3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の結果は、小学校の学力については、国語・算数・理科ともに県や全国平均を下回っており、各校において課題に対する取組を行った。中学校の学力については、数学が県や全国平均と同程度、国語・理科は、県や全国平均を上回っており、概ね力が付いていると考える。調査結果から児童生徒一人一人の回答の状況（どこでつまづいているか）等に注目して、日々の学習指導の改善・充実を図るために役立てている。

子どもにこれからの社会に必要な対話による学ぶ力を培い、その学びを支える教員の指導力向上のため、一般社団法人 教育環境デザイン研究所が受託した文部科学省「学びにおける先端技術の効果的な活用に関する実証研究事業」に実証地域として参加し、これまで続けてきた協調学習に先端技術を導入することで、更に充実した取り組みとなるよう尽力し、全国から注目を集めた。

外国語活動については、JETプログラムにより招聘した外国語指導助手（ALT）2名と、外国語教育推進員を加えた3名配置を活かし、町内の保育園所や小学校、中学校へ定期的に訪問し、各校種での外国語教育の充実を図っている。

GIGA スクール構想により導入した1人1台端末の本格運用から1年経過し、授業での端末の利活用を進めると共に家庭への持ち帰りのため、ポケットWi-Fiの整備を行った。各校でオンラインでの授業配信や保護者との連絡ツールの試験的導入など更なるICT技術の活用に取り組んだ。

学校別児童・生徒数及び教職員数（令和4年5月1日現在）

小学校

（単位：人）

	加計	筒賀	戸河内	合計
学級数	8 (2)	7 (1)	6	21 (3)
1年生	17	6	11	34
2年生	17	9	12	38
3年生	21	11	10	42
4年生	15	11	6	32
5年生	16	8	10	34
6年生	17	8	11	36
計	103	53	60	216
学校長	1	1	1	3
教頭	1	1	1	3
教諭	12	7	7	26
養護教諭	1	1	1	3
事務職員	1	1	1	3
栄養教諭	0	1	0	1
計	16	12	11	39

※学級数の（ ）は、うち特別支援学級数。

※教職員数 教諭は、本務者の数。

中学校

（単位：人）

区分	加計	安芸太田	合計
学級数	4 (1)	5 (2)	9 (3)
1年生	10	18	28
2年生	19	15	34
3年生	17	14	31
計	46	47	93
学校長	1	1	2
教頭	1	1	2
教諭	11	11	22
養護教諭	1	1	2
事務職員	1	1	2
計	15	15	30

※学級数の（ ）は、特別支援学級数。

(1) 教育委員会運営事業

安芸太田町教育委員等

教育長：二見吉康

教育委員：清胤祐子・川野法順・池野博文・河本千絵（～10月）

清胤祐子・池野博文・河本千絵・小田純子（11月～）

① 教育委員会議の開催状況 12回

月 日	主な協議事項	出席委員
4月18日	安芸太田町学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部改正について 学校給食共同調理場のあり方の検討について 町内小中学校における諸問題の状況について	3
5月11日	令和4年度安芸太田町学校運営協議会委員の委嘱について 町内小中学校の当面の行事等について 町内の園児・児童・生徒数について	4
6月17日	安芸太田町特別新教育指導委員会規則の一部改正について 令和4年度安芸太田町特別支援教育指導委員会委員の委嘱について 教育委員学校訪問について	4
7月22日	夏季一斉閉庁について 令和4年度安芸太田町保小中高連絡協議会の開催について 学校における熱中症ガイドラインについて	4
8月22日	安芸太田町立小・中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について 令和4年度本町の全国学力・学習状況調査の結果について 業務改善アンケート回答結果について	4
9月30日	安芸太田町筒賀児童センター運営委員会委員の委嘱について 安芸太田町スポーツ推進委員の委嘱について 安芸太田町文化財保護審議会委員の任命について 安芸太田町社会教育委員の委嘱について	5
10月25日	令和4年人権フェスタについて 令和5年安芸太田町20歳を祝う会について 町内小中学校における諸問題の状況について	5
11月29日	令和7年度全国高等学校総合体育大会・登山競技会場決定について 令和5年度広島県広島市公立学校教員採用候補者選考試験の結果について 広島県公立学校教職員人事異動方針について	5
12月16日	教職員の服務規律の厳正確保等について 学校現場での授業研究システム活用例のWEB掲載について 令和5年立志式について	5
1月16日	安芸太田町いじめ問題調査委員会規則について 定年引上げについて 令和4年度退職辞令交付式・令和5年度辞令交付式の日程について	4

月 日	主な協議事項	出席委員
2月15日	安芸太田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 安芸太田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について 安芸太田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	4
3月14日	安芸太田町就学援助費支給要綱の一部改正について 県費教職員の任免その他の進退の内申について 学校における働き方改革取組方針（令和5年度～）について	5

② 学校訪問 10月28日（町内全小・中学校）

③ 歳出決算額（報酬・費用弁償・負担金） 1,014,431円

（2）教育委員会事務局運営事業

・ALT（外国語指導助手）活用事業

① 事業の目的・内容

ALTはJETプログラムによる2名と、外国語教育推進員の3名体制で全小中学校へ毎週（小学校週2回、中学校週2回）訪問し、児童・生徒の英語による実践的コミュニケーション能力の育成と国際理解を深めた。

また、町内各こども園や保育所へ訪問し、就学前教育の充実を図った。

② 事業の成果と課題

新型コロナウイルス感染症の拡大により来日が遅れるなど、数年間3名体制がとれない状態であったが、今年度は3名体制で学校訪問と、園所への訪問を行うことができた。

適宜ALTと担当教諭のミーティングを行い、意見交換しお互いに授業におけるALTの役割を理解し、チームティーチングでの授業作りに努めることができた。

小学校では授業の中でALTの自国の文化を紹介する時間や、本の読み聞かせの時間をとり、ネイティブな英語に触れる時間を持たせることができています。

中学校においては英語科の授業のほか、休憩時間や他の活動時にも声をかけ、生徒の意欲や力を伸ばすことができた。また、工夫した教材づくりや、自国の文化や流行を紹介するポスター作りに熱心に取組み、生徒の興味を引くことができています。

英語暗唱大会では、練習に参加し、発音やジェスチャーについてアドバイスをを行い、芸北地区大会で上位7名入賞し、県大会へ1名出場を果たした。また、英語検定時にはインタビュー練習など積極的に協力し英語検定取得率の向上に尽力した。

第3学年の3級以上取得者の割合（R1 50.0% R2 61.3% R3 46.9% R4 54.8%）

③ 歳出決算額（ALT報酬・費用弁償・負担金） 10,193,831円

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			

	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	就学前、小学校低学年からALTと触れ合う機会があること、小学校でほぼすべての授業でALTとのTTができる環境は他市町でもなかなかないと思う。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・学校 ICT 整備事業

① 事業の目的・内容

令和3年度から「1人1台端末」の本格運用が開始となった。授業での端末の利活用を進めると共に家庭への持ち帰り、ICT 技術を活用した授業づくり（オンラインでの授業配信等）について取り組んだ。

② 事業の成果と課題

学校において1人1台端末を利活用して授業を行えるよう、ICT 研修を行い実践交流やシステムの研修会を実施し、教職員のリテラシー※1の向上に努めた。また、ICT 支援員と共に各インシデント※2に対応し、学校の取組に対する支援を行った。

端末の持ち帰りに関して、ポケット Wi-Fi を整備し、通信環境が整備されていない家庭に貸し出すことで家庭学習での活用促進を進めることができた。

文部科学省の学習システムであり、オンライン上でテストを受けることができる MEXCBT（メグビット）の利用環境を整備し、学力調査の CBT（Computer Based Testing）化に備えた。今後は MEXCBT の活用について検討していく必要がある。個別最適な学びに ICT 技術を活用すべく、校果的なデジタル教材（AI ドリル）の導入について、検討することができた。

また、業務改善の観点からも校務支援システムの導入についてシステム研修会を行い、教職員と共に校務のシステム化について検討することができた。

③ 歳出決算額（学校 ICT 関連） 13,832,619 円

区分	金額 [円]	備考
需用費	193,038	消耗品費等
回線使用料	651,386	インターネット、プロバイダーほか
ソフトウェア使用料	61,600	ライフイズテック（技術科用）
システム保守	2,086,205	サーバー・ネットワーク保守
機器賃借料	3,525,390	サーバーリース料

小計	6,517,619	学校 ICT 整備費小計
ICT 支援員	7,315,000	各校巡回支援員
合計	13,832,619	学校 ICT 関連合計

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	リテラシーの向上については、教職員だけでなく児童生徒にも強かに押し進めていただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(注)※1 「リテラシー (literacy)」とは、「読み書きの能力」という意味。ICTでいう「リテラシー」とは、情報の扱いに関する理解や操作に関する能力のことをいう。

※2 「インシデント」とは、出来事、事件、事例、事案、事象といったこと表す英単語。

近年は、何らかの問題が発生してアクシデントになる一歩手前の状況のことをインシデントと呼んでいる。

(3) 奨学金貸付基金運営事業

① 事業の目的・内容

高等学校、専門学校及び大学に進学を希望するが、経済的な理由から修学が困難な者に対して奨学金を貸し付ける。

奨学基金会計の状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

収支の状況

収入の部		支出の部	
費目	金額 [円]	費目	金額 [円]
返還金	7,012,000	貸付金	4,266,000
前年度繰越金	42,256,653	次年度へ繰越	45,029,936
寄附金	0		
利子	27,283		
計	49,295,936	計	49,295,936

貸付状況

区 分	貸付者数[人]			貸付額 [円]
	大・専	高	計	
4年度新規貸付	4	0	4	2,118,000
在学貸付中の者	5	1	6	2,148,000
計	9	1	10	4,266,000

奨学基金総額

区 分	金額 [円]
貸付金	48,136,900
現金	45,029,936
計	93,166,836

② 事業の成果と課題

進学希望者を経済的に支援することができた。現在は収支バランスが保たれているが、今後希望者が急増すれば、基金の不足が予測される。

この事業の目的をより多くの方に周知し、活用していただけるように広報等の周知方法を検討する必要がある。

③ 歳出決算額 42,391 円

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	進学希望者の経済的支援として今後も継続をお願いしたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(4) 連携教育推進事業

・連携教育推進事業

① 事業の目的・内容

小学校又は中学校間及び中学校区ごとの小小連携や小中連携といった児童・生徒・教職員を含めた学校間の交流、教育振興を目的とする。

② 事業の成果と課題

本町で進める連携教育の目的達成のために社会見学、合宿といった合同教育活動への講師謝礼や児童生徒の移動等に予算を充て、より効率的な推進を図った。新型コロナウイルス感染症の拡大のため、事業の実施ができない状況であったが、今年度においては、感染症対策を行いながら事業を実施することができた。

小小連携である江田島合宿については、7月13日から15日、江田島青少年の家での2泊3日の3校合同合宿を実施することができた。他校の児童との交流を通して協調性や連帯意識に基づくより良い人間関係を形成する力の育成や多様な体験活動を通して、困難な体験を克服してやり遂げることや粘り強くやり抜く態度を育てることの大切さに気付く取組みとなった。

日本技術士会の協力を得て、町内小中学生に向けた科学アカデミー教室を3回開催し、科学的なものづくりや、プログラミングについて学ぶ機会を設けることができた。

開催内容 ゴムゴムペンギン作り、モーター作り、ウクレレ作り

参加者数 70人

・「育ちと学びをつなぐ」幼保小連携教育の推進事業

① 事業の目的・内容

本事業は、広島県が「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランに掲げた「幼保小連携事業の推進」が行われるよう、市町の幼稚園・保育所・認定こども園の教員・保育士等と小学校教員等が協働して接続の取組を推進する県の委託事業である。

令和元年度から4年間当町が指定を受けて取組を推進することにより、幼保小連携教育の充実と深化を図る。

② 事業の成果と課題

令和3年度からは、教育委員会が保育所及び認定こども園を所管することとなり、より一層就学前から義務教育以降の育ちを一体として取り組んでいる。そこで、本事業を受託し、教職員の研修を重ね、取組の一層の充実を図り、作成した接続カリキュラムの実施・改善のサイクルを回すことにより、乳幼児期の育ちと学びを小学校の学びにゆるやかに接続を行いました。各園所・学校の横のつながりと、縦のつながりを深め、子どもの「遊び」「学習」レベルでのつながりの質を高めるとともに、「育ちと学びの質」を高める教育・保育のあり方等についての教員研修を、「保小合同研修」として位置づけ、町内どこにいても質の高い保育・教育を受けることができる環境を継続して整えていく。

◆評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

備 考			
外部評価	B	評価委員意見	就学前教育について、小学校との連携や合同研修などを経て、充実してきているのが評価できる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

・新しい学びプロジェクト事業（先端技術導入実証研究事業）

① 事業の目的・内容

一般社団法人 教育環境デザイン研究所が受託した文部科学省「学びにおける先端技術の効果的な活用に関する実証研究事業」に実証地域として参加し、子どもの「主体的・対話的で深い学び」の実現のための児童生徒の学習過程の適切な見とりと、それに基づく授業デザインの力量向上を目的として、次のことに取り組んだ。

取組A：センシング技術の活用によるグループ学習の様子の可視化

取組B：校内外の教師の効率的な協働可能な環境の構築

② 事業の成果と課題

町内どの学校でも、子どもの学びの事実に基づく授業デザインと振り返りの PDCA サイクルが回り始め、各校が自律してその形で授業研究を行えるようになってきている。それぞれの事後協議では、子どもの見た目の活動だけでなく学びのプロセスに関する気づきが複数見られている。

発話記録をもとにしたオンライン個人研修や、授業の動画・書き起こしを使用したオンデマンド授業研究など、多様な研修スタイルによる授業研究が見られるようになってきた。

目的に応じて効率的にシステム活用をする中核教員が増えており、短時間で質の高い授業研究につながっている。

中核教員だけでなく、若手教員や本町に赴任してきたばかりの教員が、中核教員の支援を受けながら授業研究に挑戦し、その良さを実感する事例が増えてきた。

学校を越えた教員同士のメーリングリストでの広域なつながりを活用し、教材研究を深めるとともに、教師の力量向上につなげる。

授業記録を用いた振り返りについては、負担感が有効性の実感を上回っている場合がある。データの分析・解釈について、教員の理解を深める必要がある。

卒業生の学習に関する意識調査を試行できた。今後も、卒業生への追跡調査を実施していく。

GIGA スクール校内 LAN 整備後の学校における通信整備に係る現状と課題が整理できつつある。引き続き、通信環境の整備に努めたい。

③連携教育推進事業歳出決算額

事業名	決算額 [円]	備考
連携教育推進事業	1,243,100	
「育ちと学びをつなぐ」 幼保小連携教育の推進事業	300,000	県委託金 300,000円
新しい学びプロジェクト事業 (先端技術導入実証研究事業)	631,785	(内) 246,210円は教育委員会事務局費(旅費)
計	2,174,885	

◆評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	研究授業や研修の環境整備は整ってきており、目指す授業を明確にして、これらを活用した教職員の実践の積み重ねを継続していく必要がある。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

4. 小・中学校費

(1) 小・中学校管理事業

- スクールバス運行(使用料及び賃借料)

遠距離通学に係る小学校便を7路線、中学校便は5路線で運行し、児童生徒の安全な登下校を確保した。

小学校費

学校名	運行地域	金額 [円]	備考
加計小・加計中	修道・安野	10,686,154	小・中学生が一緒に登校
	坪野・津浪	6,804,798	
	殿賀	6,057,185	
	猪山	1,010,190	
戸河内小	小板・松原	746,160	小・中学生が一緒に登校
	寺領	371,850	

	上殿	5,045,121	
合計		30,735,428	

中学校費

学校名	運行地域	金額 [円]	備考
加計中	修道・安野	1,374,560	中学校のみ利用及び週末部活便
	坪野・津浪	1,190,640	
	殿賀	1,058,145	
安芸太田中	寺領・土居・上殿	7,763,844	小・中学生と一緒に登校
	小板・松原・遊谷・上本郷	7,512,668	
合計		18,899,857	

(統合に伴う通学経費の補助金 : 国庫補助 1,206,000 円・県費補助 241,000 円)

◆評価

事業の評価	必要性 (町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性 (施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性 (事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度 (計画どおりに目標を達成できたか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備考				
外部評価	B	評価委員意見	今後の児童生徒の安心安全を第一に運営していただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

● 小・中学校管理・運営事業

① 事業の目的・内容

児童生徒が安心・安全な教育活動を行うために、施設の保守・整備・修繕を行う。

② 事業の成果

ア 施設の修繕状況 (修繕料)

小学校 286,000 円

加計小学校配膳室床修繕業務

中学校 66,000 円

加計中学校非常照明修繕

安芸太田中学校棚板修繕

イ 管理、点検等業務委託（委託料）

小学校 3,905,360円

自家用電気工作物保安管理業務・消防用設備等保守点検業務

加計小学校植栽整備等業務・加計小学校松剪定業務・加計小学校体育館樋清掃業務

筒賀小学校建築物・防火設備定期報告書作成業務・筒賀小学校樹木伐採等業務

戸河内小学校校舎及びトイレ棟樋清掃業務

上殿小学校環境整備業務・上殿小学校イチョウ伐採・処分業務

中学校 5,079,570円

自家用電気工作物保安管理業務・消防用設備等保守点検業務

加計中学校建築物・建築設備・防火設備定期報告書作成業務

加計中学校バリアフリー改修工事設計・管理業務

ウ 工事請負費

小学校 9,570,000円

筒賀小学校照明器具修繕工事

戸河内小学校通路屋根設置工事

中学校 27,500,000円

加計中学校バリアフリー改修工事

加計中学校校舎棟屋根改修工事

安芸太田町内中学校照明器具修繕工事

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	適切な環境整備の継続をお願いしたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

5. 教育振興費

(1) 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業

- 特色ある学校づくり推進事業補助金

- ① 事業の目的・内容

各学校が独自性のある学校づくり推進事業の展開が実施できるように活動費補助を行い、もみじプラン21を基本とした特色のある活動を推進した。

- ② 事業の成果と課題

特色ある学校づくり補助金による外部講師の招聘や地域の方の協力により、各学校とも学校長の経営方針に基づいた特色ある学校づくりに取り組んだ。

令和4年度は感染症対策を行いながら、計画した事業を実施することができた。

小学校費

学 校 名	金額 [円]	事業テーマ
加計小学校	213,275	気づいて 考えて やってみる 児童を育成 (マーチングバンド合宿指導講師招聘、バンドフェスティバル参加費用等)
筒賀小学校	114,710	ふるさとのよさに学び、豊かな感性と実践力を持つ児童の育成 (けん玉指導、ライフル教室、ものづくり教室等)
戸河内小学校	219,855	心を1つにして、自ら新しい学校の伝統を創り出す児童の育成 (合唱指導、スキー教室講師代等)
合 計(a)	547,840	

中学校費

学 校 名	金額 [円]	事業テーマ
加計中学校	184,695	高い志を持ち、地域に貢献し、主体的に生きる生徒の育成 (マナー講座、キャリア教育、Nコン合唱指導謝金等)
安芸太田 中学校	44,338	未来を創る人づくり 学びを生き方につなぐ教育の創造 (マナー講座、キャリア教育、地域活動等)
合 計(b)	229,033	

- その他補助金

- ① 事業の目的・内容

町内全小中学校が行う、合同修学旅行等の費用へ補助を行った。

また、平成29年度から行っている英語検定料補助を継続して実施し、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けた。

自転車通学を行う生徒に対し、遠距離通学補助を行った。

また、中学校において各種大会への参加について補助を行った。

- ② 事業の成果

町内小学校は、コロナ禍においても合同修学旅行を実施することができ、制限のある

中、学校間の児童生徒の交流を深め、団体行動による社会性の育成と同世代同士のコミュニケーション育成につながった。中学校の合同修学旅行については、令和3年度新型コロナウイルス感染症の拡大により延期した3年生の修学旅行及び2年生の修学旅行について実施をすることができた。

英語検定料補助により、全生徒に英語検定に挑戦する機会を設けることができている。受験した級を取得できた生徒は85.9%（前年度90.5%）だった。また、中学3年卒業時の英検3級取得率は54.8%（前年度46.9%）で、国の目標値50%に達することができた。

名 称		金額[円]	備 考
小学校	小学校修学旅行補助金（山口方面）	439,910	@12,000×36人 他
小学校計(c)		439,910	
中学校	中学校修学旅行補助金（広島県内）	593,412	@18,000×31人 他（3年生）
	中学校修学旅行補助金（広島県内）	661,477	@18,000×34人 他（2年生）
	遠距離通学費補助金	75,600	加計中5人（21,000円） 安芸太田中9人（54,600円）
	英語検定料補助金	304,210	加計中 44名分（159,170円） 安芸太田中46名分（145,040円）
	第30回広島県中学校英語暗唱・弁論大会	1,000	大会参加者各1名分 （安芸太田中）
	第54回広島県中学校スキー選手権大会 第44回中国中学校スキー選手権大会 第60回全国中学校スキー大会	164,012	大会参加者各1名分 （安芸太田中）
中学校計(d)		1,799,711	
小学校費補助金合計(a)+(c)		987,750	
中学校費補助金合計(b)+(d)		2,028,744	

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備 考				

外部評価	A	評価委員意見	各学校が特色ある学校づくりに努力していただきたい。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

(2) 小学校就学援助事業・中学校就学援助事業

① 事業の目的・内容

経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対して、国の制度に則り、学用品や給食費など必要な援助を行った。

② 事業の成果

援助が必要な児童生徒に対して、経済的負担を軽減することができた。

③ 歳出決算額 10,167,278円

準要保護児童生徒就学援助費に係る支給状況 (令和4年4月～令和5年3月)

区分	対象者数			支給額 [円]			備考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	39	18	57	505,028	443,190	948,218	
修学旅行費	11	15	26	141,001	355,185	496,186	
校外活動費	0	1	1	0	1,840	1,840	
新入学学用品費	2	0	2	102,120	0	102,120	
給食費	36	18	54	1,655,704	1,052,454	2,708,158	
医療費	5	0	5	20,820	0	20,820	
P T A 会費	28	13	41	54,049	55,200	109,249	
新入学用品入学前支給	5	6	11	255,300	360,000	615,300	
計(f)				2,734,022	2,267,869	5,001,891	

※就学援助対象者の割合 小学校18%、中学校19%

特別支援就学奨励費補助金に係る支給状況 (令和4年4月～令和5年3月)

区分	対象者数			支給額 [円]			備考
	小	中	計	小学校	中学校	計	
学用品費等	2	1	3	13,900	25,000	38,900	国庫補助額 小・中学校 39,000円
修学旅行費	0	1	0	0	18,253	18,253	
校外活動費等	0	1	1	0	2,510	2,510	
新入学学用品費	0	0	0	0	0	0	
給食費	2	1	3	49,140	54,693	103,833	
医療費	0	0	0	0	0	0	
計(g)				63,040	100,456	163,496	
扶助費合計(f)+(g)				2,797,062	2,368,325	5,165,387	

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	児童生徒の学習機会を保障するために必要な事業である。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

6. 保健体育費(共同調理場)

(1) 加計共同調理場運営事業・筒賀共同調理場運営事業

① 事業の目的・内容

2つの学校給食共同調理場から、小学校、中学校及び保育所、認定こども園へ安心で安全な完全給食を提供する。

② 事業の成果と課題

加計・筒賀の両調理場の栄養士が連携をし、調理員の衛生面の指導を徹底しながら、産直市や農家と連携し地元の食材を積極的に給食に取り入れた豊かな献立作りを行っている。

加計調理場では、会計年度任用職員の調理員がこれまでと変わらない給食づくりに取り組んでいるが人員の確保が困難のため、調理業務と運搬業務については委託化を検討し、公募型プロポーザルで業者を決定した。令和5年度からのスムーズな稼働を目標に業者と継続した連携をとり、これまでと変わらず、安心安全な給食を提供していく。

③ 歳出決算額

加計共同調理場運営事業 45,084,804 円

筒賀共同調理場運営事業 17,820,671 円

加計学校給食共同調理場（令和4年5月1日現在、単位：人）

職員	場長 1人、栄養士 1人、調理員 再任用1人、臨時6人（2時間勤務1人）、運転手（臨時）4人 計13人			
学 校 給 食（職員数は臨時・非常勤含む）				
小学校	児童数	職員数	合計	・児童数 153人
戸河内	50	11	61	・生徒数 46人

加 計	103	16	119	・職員数 41人 計 240人
中学校	生徒数	職員数	合 計	
加 計	46	14	60	
保育所・認定こども園（職員数は臨時・非常勤含む）				
保育所	3歳児未満	3歳児以上	職員数	・3歳児未満 19人 ・3歳児以上 32人 ・職員数 20人 計 71人
修 道	2	5	5	
認定こども園	3歳児未満	3歳児以上	職員数	
あさひ	17	27	15	

筒賀学校給食共同調理場

職 員	場長（兼任）1人、栄養士 1人（兼任：筒賀小学校栄養教諭） 調理員 正職2人、臨時2人（半日勤務1人）、運転手（臨時）1人 計7人			
学 校 給 食（職員は臨時・非常勤含む）				
小学校	児童数	職員数	合 計	・児童数 53人 ・生徒数 47人 ・職員数 26人 計 126人
筒 賀	53	11	64	
中学校	生徒数	職員数	合 計	
安芸太田	47	15	62	

学校給食費徴収状況

	年度	調定額 [円]	収入額 [円]	収入未済額 [円]	未納数 (件)
現年度分	R4年度	22,134,436	22,114,402	20,034	7
過年度分	H27年度	9,800	0	9,800	2
	計	9,800	0	9,800	2

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考				
外部評価	B	評価委員意見	地産地消の食材利用など工夫している。今後も物価高騰の中で安心安全な給食を継続するため苦心している。	

事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了
------------	---

7. 社会教育費

(1) 社会教育総務管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育の推進を図るため、各種団体への負担金・補助金を支払う。

社会教育関係負担金の内訳

名 称	金額[円]
広島県社会教育委員連絡協議会会費	24,000
けんみん文化祭ひろしま'22 開催負担金	100,000
広島県公民館連合会負担金	76,900
全国社会教育研究大会広島大会参加負担金	35,000
合 計	235,900

社会教育関係補助金の内訳

名 称	金額[円]
安芸太田町女性連合会事業補助金	1,170,000
安芸太田町子ども会連合会事業補助金	250,000
安芸太田町 PTA 連合会事業補助金	250,000
青少年育成安芸太田町民会議事業補助金	475,000
安芸太田町文化団体連合会事業補助金	300,000
合 計	2,445,000

② 事業の成果と課題

各種団体ともにコロナ禍での活動を模索され、徐々に可能な事業を実施されていたが、各団体とも会員数が減少しており、今後の団体の持続性について課題があり、検討していく必要がある。

③ 歳出決算額 6,269,593 円

◆評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備 考	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
外部評価	B	評価委員意見	社会教育推進の一つとして各種団体への負担金補助金は必要だが、「これからの自分たちの生活に必要・やってみたい」という活動を推進してほしい。	

事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 単年度で終了

(2) 社会教育施設管理事業

① 事業の目的・内容

社会教育施設の運営維持のため、以下の施設について保守・整備・修繕を行う。

施設名	金額[円]	備考
戸河内ふれあいセンター	8,090,355	賃金・需用費・委託料 ほか
筒賀公民館	574,301	光熱水費・通信運搬費 ほか
筒賀公民館東区分館	94,364	消耗品・電話料・施設管理委託料 ほか
温井文化センター	228,402	施設管理・浄化槽管理委託 ほか
香南文化センター	352,230	指定管理・建物共済
川・森・文化・交流センター	17,938,589	賃金・需用費・委託料 ほか

② 事業の成果と課題

施設の管理について、各施設とも老朽化による修繕の増加が今後とも予想され、不具合箇所を適切な補修を行なうことで対応している。

③ 歳出決算額 27,958,408 円

(3) 文化財保護管理事業

① 事業の目的・内容

指定文化財を含め貴重な財産である文化財の保存維持を図るとともに、郷土の歴史を研究している団体の活動を支援する。

種 別	件 数
国指定	2
国登録	2
県指定	14
町指定	37

安芸太田町郷土史研究会事業補助金 181,000 円

② 事業の成果と課題

文化財保護審議会を開催し、文化財の保存及び活用に関する事項を審議していただいた。文化財の価値を損なうことなく後世に継承していく「保存」、そして地域においてより多くの人々に対して公開し、鑑賞してもらい、親しんでもらう「活用」について、今後より検討する必要がある。

③ 歳出決算額 430,089 円

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			

	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	文化財として保存とともに積極的な活用を検討していただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(4) 生涯学習推進事業

当事業の歳出決算額は1,467,579円である。以下に主要な項目について述べる。

- 地域生涯学習センター（小学校廃校地域対象）

① 事業の目的・内容

廃校となった小学校区を対象に地域生涯学習センターを開設した。

各地域の団体と連携し、講座や教室、スポーツ大会の開催、地域情報の提供等を実施し、地域の活性化を促す。

② 事業の成果と課題

講座や教室、スポーツ大会の開催等で地域の活性化が図られた。

③ 事業額 255,600円

センター名	金額[円]	備考
二郷地域生涯学習センター	255,600	報酬
合計	255,600	

- 安芸太田町二十歳を祝う会

① 事業の目的・内容

新成人の門出を祝福するとともに、大人の仲間入りをしたことによる義務と責任を再確認してもらうための事業として実施している。

また、民法の一部改正により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたため、本町では、18歳の多くが大学等の進学受験や就職といった極めて多忙な時期と重なり、本人だけでなく家族を含め、落ち着いた環境で成人を祝うことが望ましいと判断し、令和4年度以降も20歳を対象に「安芸太田町二十歳を祝う会」として開催していきます。

（令和3年度延期分）「安芸太田町成人式」

開催日時 令和4年8月14日（日） 11:30～

開催場所 川・森・文化・交流センター やまびこホール

対象者 平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれ
 対象人数 男性 19人 女性 21人 計 40人
 【出席者】 27名 出席率67.5%
 内容 式典、記念行事及び戸河内ウキスキーの紹介
 記念品 「ウキスキーグラス（風炎窯）」

(令和4年度分)「安芸太田町二十歳を祝う会」

開催日時 令和5年1月8日（日） 11:30～
 開催場所 川・森・文化・交流センター やまびこホール
 対象者 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ
 対象人数 男性 22人 女性 19人 計 41人
 【出席者】 27名 出席率65.8%
 内容 式典、記念行事及び戸河内ウキスキー
 記念品 「ウキスキーグラス（風炎窯）」

② 事業の成果と課題

平成29年度成人式でも実施し好評だった「未来へつなぐ“戸河内ウキスキー”」を今回も企画。アトラクションで恩師からのメッセージ映像を会場で流すと町内で過ごした学校時代を懐かしむ様子が伺え、さらに中学校の時に世話になった恩師も直接お祝いに駆けつけていただくなど終始和やかな会となった。

③ 事業額 984,410円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	A	評価委員意見	ふるさとを感じることでできる行事として今後もずっと継続していただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・ 公民館講座（そろばん教室）

① 事業の目的・内容

そろばん教室を通して、子どもたちに低下しがちな集中力、忍耐力、積極性を養うことを目的に、隔月1回の検定試験を実施し、昇級目指して努力している。

日 時 毎週火曜日 午後6時から7時まで

講 師 社団法人 全国珠算教育連盟 広島県支部 栗栖 貞文 さん

場 所 川・森・文化・交流センター

受講生 23名

② 事業の成果と課題

毎月検定を行うことにより、よりレベルを上げて行くというチャレンジ精神が養われている。

③ 事業額

歳入（受講料） 351,000 円

歳出（講師謝礼） 287,000 円 @7,000 円/回×41 回

・ カルチャー教室

① 事業の目的・内容

都市部では様々なカルチャー講座が実施され、意欲のある人が参加している。しかし安芸太田町では、意欲がある人がいても、交通手段等の事情により受講することが難しい。そこで、町民の文化に対する意識向上や生きがいづくり日常の充実を図ることを目的に、平成23年度より町が講師を招へいし、町民に対し安価で受講できるカルチャー講座を開講しているが、新型コロナウイルス感染の拡大の影響により、自粛要請が徐々に緩和されたことや住民からの要望により「スマホ教室&morica（モリカ）アプリ」講座を企画課と合同で開講しました。

② 事業の成果と課題

～スマホ教室と morica（もりか）アプリ説明会～

スマートフォンの基本操作等の入門講座と morica（もりか）アプリの利用方法や便利な使い方の説明を町内4会場（安芸太田町役場本庁、筒賀福祉センター、太田川交流館かけはし、修道せせらぎ）で行い、29名の参加があり、参加された方からは好評であった。

今後も町民のニーズを把握し、事業を実施していきたい。

◆評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	

備 考			
外部評価	B	評価委員意見	様々なニーズに答えるという点での難しさはあると思うが、機会として教室があることは良いと思う。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		

• 芸術文化推進事業

① 事業の目的・内容

質の高い芸術文化に触れてもらうことにより、町民の芸術文化感覚を養う。

また、文化団体連合会の事務局を教育委員会内に置き、町民の芸術文化活動を発表する場を設けることにより、町民の日々の生きがいを支援する。

③ 事業の成果と課題

安芸太田町文化芸術フェスティバルを3年ぶりに開催。例年2日間行うところを、1日だけの開催であったが、書道や美術などの作品を数多く出展され、ステージでは多くの団体等の発表があり、多くの方の来場があった。

以前に比べると高齢化等により加盟団体数も微減しており、各種団体の活性化を図ることが今後の課題である。

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備 考				
外部評価	B	評価委員意見	目的にあるように「質の高い芸術文化に触れる」という部分をさらに追及していただきたい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・ 人権関係

① 事業の目的・内容

人権フェスタの開催

各団体・機関が実施している人権イベントの連携と交流のネットワークを図り、お互いの活動を紹介し合い、情報を共有し、人的な交流を深め合うことを大切にするため、平成20年度から実施している。

日時 令和4年12月17日(土) 10:00~16:00

場所 川・森・文化・交流センター やまびこホール

講演会 講師：沖田 孝司さん、沖田 千春さん

演題：「伝えよう 笑顔と心」

・人権展：町内小学6年生の人権標語展示

(人権標語は町内小・中・高等学校、町内企業等所で展示)

② 事業の成果と課題

人権週間・障害者週間と合わせ、令和4年度で15回目となる「人権フェスタ」を開催し、町内介護福祉事業所による体験・展示・販売コーナーを設け、多くの参加があった。

今後も「住んでいて良かった」「人権が尊重されるまち」と実感できるよう人権教育・啓発活動を行っていく。

③ 事業額 187,777円

◆評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	人権週間にあわせ様々な取り組みを継続されている。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

・ 子ども会活動

① 事業の目的・内容

連合会の事務局を教育委員会内に置き、町子ども会連合会としての主催活動を展開し、

情報の交換・共有を図る。

② 事業の成果と課題

様々な事業を行う中で地域の子ども会活動を支援し、子どもたちに楽しむ場を提供した。子どもの減少により、子ども会を組織できなくなる地域が増えているが、町子ども会連合会を受け皿にして、町子ども会連合会の主催活動には全ての子どもが参加できる体制をとっている。しかし、全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、上関町子ども会育成連絡協議会との「山村交流会」は中止した。

ア 安芸太田町子ども会連合会活動の促進・支援

総会 年1回開催

役員会 年4回開催

イ 山村交流会

趣旨 海沿いに面する地域に住む町外の子もたち（山口県熊毛郡上関町）との交流を図るとともに、お互いの子ども会活動の情報を交換しあう中で、更なる活動の活性化を進める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

ウ 親子クリーンハイキング

趣旨 親子でハイキングをすることにより親子の絆を深めるとともに、ハイキングの際、ゴミを拾うなど美化活動を行なうことにより環境保全の意識、ボランティア精神の向上を高める。

主催 安芸太田町子ども会連合会

日時 令和5年3月25日 参加者55名（子ども28人、大人27人）

場所 戸河内地域

• PTA活動

① 事業の目的・内容

安芸太田町PTA連合会（以下町P連とする）の事務局を教育委員会内に置き、町P連としての主催活動を促進し情報交換・共有を図るとともに、各学校単位PTA（以下「単P」とする）の活動を支援する。

② 事業の成果と課題

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策が緩和されたことから、子ども会連合会との共催により、四季の教室やチャレンジコンクール、親子クリーンハイキングを実施。また、テレビ、ゲーム、スマートフォン等の使用をできるだけ減らし、家族のふれあい時間を増やすための「ノーメディアデー」を実施するなど、家庭・学校・地域の連携、協力が図れた。

ア 総会 年1回開催（5月23日）

山県郡PTA連合会実行委員会 年3回開催（オンライン）

県PTAA全小・中学校PTA会長研修会参加（6月2日）

日本PTA中国ブロック研究大会（11月12日 オンライン）

広島県PTA連合会全員研修会（12月3日）

• 青少年育成町民会議活動

① 事業の目的・内容

町民会議の事務局を教育委員会内に置き、町民会議として主催活動を促進するとともに、情報交換・共有を図る。

② 事業の成果と課題

各種事業を行うことにより関係団体間の連携・情報交換ができ、地域全体で青少年を育んで行くという大きなつながりができた。

ア 青少年育成安芸太田町民会議活動の促進・支援

総会 年1回開催（6月30日）

イ 立志式

趣旨 成長過程にある安芸太田町内中学校2年生を激励するとともに、生徒自らが自立心をもって生きることを促し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成を図る。

主催 青少年育成安芸太田町民会議

第13回立志式【延期分】

日時 令和4年6月18日 9時15分～

会場 川・森・文化・交流センター やまびこホール

講師 宮大工 清水 開基さん

対象 町内中学3年生31名

第14回立志式

日時 令和5年2月4日 9時30分～

会場 川・森・文化・交流センター やまびこホール

講師 自営業 栗栖 悠さん

対象 町内中学2年生35名

ウ 第14回あきおたゲームハイキング

趣旨 町内の自然・文化・歴史を訪ね、地域の方から話を聴き、地域を知るとともに、郷土に誇りを持ち郷土を愛する心を育む。また、多くの仲間との交流を通じて、協力することの大切さを学ぶとともに、友情の和を広げ世代の枠を超えた交流の中で、お互いを理解しあう。

主催 青少年育成安芸太田町民会議

日時 令和5年3月28日 10時～14時30分 参加者 103人

場所 筒賀地域（筒賀にじいろ農園、大銀杏、筒賀支所など）

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	地域と子どもたちを、結びつける活動は評価できる。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(5) 図書館運営事業

① 事業の目的・内容

- ・図書館協議会開催

日時 令和5年2月21日 14:00～

- ・図書購入状況

	区分	4年度購入	金額 [円]	備考 (寄贈含む)
本館	蔵書	532冊	955,835	総冊数 44,949冊
	雑誌	18種類	136,656	総冊数 543冊
筒賀分室	蔵書	175冊	245,492	総冊数 10,030冊
	雑誌	3種類	17,889	総冊数 279冊
戸河内分室	蔵書	208冊	310,270	総冊数 14,665冊
	雑誌	8種類	81,824	総冊数 406冊
大型絵本・紙芝居		24点	61,710	蔵書登録
視聴覚		7点	74,399	総数 836点

- ・図書館利用状況

ア 開館日数〔本館〕278日,〔筒賀分室〕267日,〔戸河内分室〕268日

イ 貸出し冊数

	区分	本館	筒賀分室	戸河内分室	移動図書館
貸出	一般書	6,596冊	1,842冊	3,223冊	1,237冊
	児童書	12,525冊	2,951冊	2,237冊	2,251冊

し 冊 数	雑 誌	707 冊	53 冊	386 冊	7 冊
	視聴覚	1,095 点	56 点	31 点	0 点
	その他 (外国語図書)	14 冊	0 冊	0 冊	0 冊
	計	20,937 冊	4,902 冊	5,877 冊	3,495 冊

ウ 移動図書館やまびこ号

- ・月1回 火・水・木・金曜日に町内22箇所を巡回
- ・利用状況 利用者数 393人

エ 令和4年度は司書2名体制で巡回活動を行った。

- ・小学校3校での絵本の読み聞かせ、図書委員会活動支援など
- ・保育園・児童センター等6か所 絵本の読み聞かせ

② 事業の成果と課題

図書館での読書環境改善や、図書館利用の促進と子どもの読書を推進する取り組みとして、図書館外へ本を送り出す「移動図書館やまびこ号運行」や「司書による巡回活動」、を定例行事等と合わせて展開し、多くの本に出会う機会と情報を提供することで利用増加を図った。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、図書館事業の自粛等により従来の活動ができなかったが、令和3年度より利用者数及び貸出冊数が増加し、図書活動に回復傾向がみられる。

【参考】実績比較（3館合計）

令和3年度 利用者数 5,606名 貸出冊数 31,911冊
 令和4年度 利用者数 6,300名 貸出冊数 35,211冊

③ 歳出決算額 18,270,968円

◆評価

事業 の 評 価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
備 考				
外部評価	B	評価委員意見	司書による読書推進の活動は大変ありがたい。児童生徒だけでなく、町民に対しても読書の素晴らしさをさらに伝える取組をしていただきたい。	
事業の方 向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(6) 放課後子ども教室推進事業

① 事業の目的・内容

放課後や長期休業日に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設ける。

地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、毎年実施している地域交流等は中止となった。

区 分		事業の実績内容	
1	子ども教室名	戸河内小学校放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	戸河内小学校区	
3	実施場所	安芸太田町立戸河内小学校	
4	実施日数	年間： 236 日	平日 200 日
			土曜日及び長期休 36 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	平均人数： 15 人(平日)
区 分		事業の実績内容	
1	子ども教室名	修道放課後子ども教室	
2	当該小学校区名	旧修道小学校区	
3	実施場所	修道活性化センター	
4	実施日数	年間： 253 日	平日 204 日
			土曜日及び長期休 55 日
5	参加対象者(1日当たり)	対象：小学1年生～小学6年生	平均人数： 8 人(平日)

② 事業の成果と課題

小学校の空き教室等を利用し、安全安心な居場所として学習や交流事業等を実施。修道活性化センター、戸河内小学校で実施。

児童の放課後の居場所として定着し、家庭支援事業として大きな役割を果たしている。毎年、地域や各種団体の協力のもと交流事業等を実施していたが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により中止した。

補助事業	補助事業対象経費総額	補助金額 (2/3)
放課後子ども教室推進事業	2,986,000 円	1,990,000 円

③ 歳出決算額 3,853,381 円

◆評価

事業の 評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）				

	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	児童の放課後の居場所として定着している。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

8. 保健体育費(共同調理場費を除く)

(1) 保健体育総務管理事業

① 事業の目的・内容

- ア スポーツ推進委員報酬 12人 408,000円
- イ 中国地区スポーツ推進委員研修会(動画等公開)
- ウ 令和4年度広島県スポーツ推進委員研究大会(7月2日 尾道市)
- エ 第63回 全国スポーツ推進委員研究協議会(滋賀県)
- オ 令和4年度広島県総合マネジメント研修会(9月11日 福山市)
- カ 令和4年度広島県女性スポーツ推進委員研修会(兼)芸北地区スポーツ推進委員研修会(10月29日 安芸太田町)
- キ 安芸太田町体育協会総会(6月16日)
- ク 全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会(7月28日～31日)

② 事業の成果と課題

スポーツ推進委員に対し、スキルアップ及び情報共有を図るため、積極的に研修会に参加できるよう調整をした。

「全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会」は開閉会式を行わず、大会運営を簡素化するなど新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら開催した。

安芸太田町スポーツ推進委員協議会の研修を兼ねた「フライングディスク講習会」を3月に開催し、幅広い世代から20名の参加があった。今後もスポーツを通じて、地域や住民が生きがいや生涯スポーツに取り組めるようなメニューができるよう関係機関と図っていききたい。

③ 歳出決算額 1,912,509円

◆評価

事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
備考				
外部評価	B	評価委員意見	親子、家族、障がい者、自治会ともに楽しくとりくめるものを考えひろげてほしい。	
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了			

(2) 体育施設管理事業

① 事業の目的・内容

町内の体育施設の維持管理、修繕等を行う。

② 事業の成果と課題

近年すべての体育施設は老朽化しており、年々修繕費等の経費が増大している。

③ 歳出決算額 20,179,637円

主な歳出の内訳

施設	設置場所	支出額[円]	備考
体育施設	加計体育館	7,035,040	指定管理委託料、建物共済等
	修道活性化センター	2,415,885	管理委託料 保守点検・維持管理等
	津浪体育館 (津浪スポーツ広場も含む)	237,670	AED レンタル 管理委託料、水道等
スポーツ広場	見入ヶ崎スポーツ広場	96,088	管理委託料、水道等
	温井スポーツ広場	78,840	管理委託料、電気代
	松原スポーツ広場	30,000	管理委託料
	至誠スポーツ広場	17,752	電気代
	筒賀ふれあいスポーツ広場	249,477	電気・水道代、管理委託料等
	筒賀多目的スポーツ広場	211,936	電気代等
	修道スポーツ広場	61,544	電気代、管理委託料等
	坂根スポーツ広場	741,903	管理委託料、保守点検、修繕等
	殿賀スポーツ広場	168,957	管理委託料、電気代等
	杉の泊スポーツ広場	30,000	管理委託料
	筒賀ゲートボール場	4,870	電気代
学校体育施設	加計小学校体育館	101,360	管理委託料、夜間照明
	筒賀小学校	211,200	夜間照明

	上殿小学校	43,086	夜間照明
	加計中学校	135,526	夜間照明
その他	旧戸河内中学校 他	216,608	夜間照明
町内プール	加計・戸河内・筒賀・松原・猪山・上殿・寺領・平見谷・修道・津浪・温井・坂原・井仁	8,091,895	賃金、管理委託料、保守点検・維持管理・水質検査、AED レンタル等
合 計		20,179,637	

ア 加計体育館利用状況

年間利用状況

利用日数[日]	利用件数[件]	利用者延べ人数[人]
295	556	8,161

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール (部活含)	21	231	3,109	242,550
ビーチボールバレー	2	74	1,086	66,880
バドミントン	9	68	540	90,599
卓球 (部活含)	7	57	596	30,680
テニス (部活)	1	27	230	0
フットサル	4	55	514	113,993
サッカー	1	5	250	12,800
その他	13	39	1,836	239,910
合 計	58	556	8,161	797,412

イ 戸河内ふれあいセンター利用状況

年間利用状況

メイプルホール			アリーナ		
利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ 人数[人]	利用日数 [日]	利用件数 [件]	利用者延べ 人数[人]
36	42	2,637	164	255	3,432

種目別利用状況

種 目	利用団体 [団体]	利用件数 [件]	利用者延べ人数 [人]	利用料金 [円]
バレーボール	7	20	145	37,750
ビーチボールバレー	1	19	117	11,000
ソフトバレーボール	1	34	244	18,500
バドミントン	3	4	71	23,580
卓 球	3	37	293	19,000

剣道	4	37	451	25,190
その他	21	60	1,003	100,530
小計	40	211	2,324	237,550
メイプルホール (冷暖房)	25	53	2,453	416,545
楽屋 (冷暖房)	0	0	5	0
ピアノ、音響等				12,283
ロビー	0	0	0	0
小計	38	69	2,458	499,102
合計	78	280	4,782	736,652

(3) 社会体育振興事業

① 事業の目的・内容

ア 第10回安芸太田町民グラウンド・ゴルフ大会

7月3日 深入山グラウンド・ゴルフ場 92名参加

② 事業の成果と課題

グラウンド・ゴルフ大会は小学生の参加もあり、幅広い交流となった。今後も住民ニーズを把握しながら、スポーツ振興に資する住民の活動を支援する必要がある。

③ 歳出決算額 166,565円

◆評価

事業の評価	必要性（町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要あるか）		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	<input type="checkbox"/> かなり減少		
	有効性（施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか）		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	<input type="checkbox"/> できていない		
	経済・効率性（事務効率化、コスト縮減しているか）		
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	
<input type="checkbox"/> できていない			
目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	
<input type="checkbox"/> できていない			
備考			
外部評価	B	評価委員意見	グラウンド・ゴルフは一定の定着が見られる。人口が少なく高齢化の町で今後どのような形で体育振興を進めていくか検討が必要。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了		